シェルと空間構造に関する夏期セミナー2026

2026年9月5日(土) ～ 9月8日(火)

Final Announcement

会場：広島サンプラザ

開催概要

今年の夏のセミナー合宿は宮島からほど近い「広島サンプラザ」で開催することになりました。日頃の研究成果を発表するとともに，活発な議論を交わしていただきたく，ご案内申し上げます。

開催期日	2026年9月5日(土) ～ 2026年9月8日(火)
開催場所	広島サンプラザ （Tel：082-278-5000） 〒733-0833 広島県広島市西区商工センター３丁目１－１ ※初日は13時にセミナー会場である広島市中小企業会館（〒733-0833 広島市西区商工センター１丁目１４－１）に集合
アクセス	JR新井口駅から徒歩5分。駐車場は無料62台・有料420台完備。無料駐車場はホテル利用者限定・事前予約制のため、必要な方は幹事までご連絡ください。それ以外は先着順で、満車時は有料駐車場となる場合があります。
参加費（3泊）	一般：40,000円 ／ 学生：31,000円 ※参加者数により変動します。懇親会費を含みます。部分参加の方は実費に応じて減額します。詳細はこちらをご覧ください。

主催

顧問 金沢工業大学 名誉教授 高山 誠
顧問 名古屋大学 名誉教授 大森 博司
顧問 鹿児島大学 名誉教授 本間 俊雄
顧問 京都大学 名誉教授 大崎 純
東京大学生産技術研究所 川口研究室
東海大学建築都市学部建築学科 山本研究室・野村研究室
日本大学生産工学部創生デザイン学科 早川研究室
金沢工業大学建築学部建築学科 西村研究室
中部大学工学部建築学科 古川研究室
名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻 木村研究室
大同大学建築学部建築学科 萩原研究室
豊田工業高等専門学校建築学科 山田研究室
京都大学大学院工学研究科建築学専攻 張研究室・林研究室
大阪産業大学建築・環境デザイン学部建築・環境デザイン学科
和多田研究室
近畿大学工学部建築学科
藤井研究室・松本研究室・藤田研究室（幹事）
近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科 小野研究室・趙研究室
鹿児島大学工学部建築学科 横須賀研究室

連絡先：近畿大学 藤田慎之輔 Tel：090-9738-6879 Mail：shinnosuke@hiro.kindai.ac.jp

参加申し込みと支払いについて

- こちらのGoogleスプレッドシートにご記入ください（申込期限：6月29日月曜日）
- ※準備の都合上，申込期限にかかわらず，参加が確定しましたらお早めにお申し込みいただけますと幸いです
- 参加費の圧縮のため，朝食・昼食は選択制，夕食については2日目(9/7)の懇親会のみの設定です。ホテルは大型ショッピングモールに隣接しており，飲食には困らない立地です。
- 支払いは１日目のセミナー終了後，チェックイン時にロビーにて現金で徴収します。チェックインはセミナー終了後に行いますので，初日は直接セミナー会場にお越しください。

シェルと空間構造に関する夏期セミナー2026

2026年9月5日(土) ～ 9月8日(火)

Final Announcement

会場：広島サンプラザ

セミナープログラム

時間	9/5(土)	9/6(日)	9/7(月)	9/8(火)
9:00～10:15		SESSION 4	SPECIAL SESSION (7:00～17:00)	解散
10:15～10:30		休憩		
10:30～12:00		SESSION 5		
12:00～13:00		昼食		
13:00～14:30	SESSION 1	SESSION 6		
14:30～14:45	休憩	休憩		
14:45～16:15	SESSION 2	SESSION 7		
16:15～16:30	休憩	休憩		
16:30～18:00	SESSION 3	SESSION 8		
19:00～21:00		懇親会		

発表について

- 発表にはプロジェクターを使用します。プロジェクターと接続ケーブル(HDMI)は会場に用意されています。発表にはご自身のノートPCをご持参いただくことを標準とします。ただし，発表データをUSBフラッシュメモリに保存し，会場に用意されたノートPCを使用しても構いません。
- レジュメは200MB以下のPDFで，ファイル名を「発表順番_大学_氏名.pdf」としてください（例：11_近畿大学_広島太郎.pdf）。発表順番についてはプログラムを参照ください。
- 提出は9月4日12:00までとし，提出先はこちらのGoogle Driveとします。大学や組織のアカウントでアップロードした場合，セキュリティ制限により第三者が閲覧できない場合がありますので，その場合は個人のGoogleアカウントでアップロードしてください。
- 発表時間は8分，質疑応答4分，交代時間1分，計13分を予定しています。
- 発表の最初に名前，所属，概要を英語で説明してください。
- 学生は1人2回／日以上必ず質問をしてください。
- Best Presentation賞（優秀発表賞），Best Question賞（優秀質疑賞）を設けます。
- 学生が質問する場合には，発表順番号，所属，氏名を述べた後に質問してください。また，挙手の際に質問した回数を指で明示してください。
- 会場のWiFiは一度に接続できるのはせいぜい10人程度とのことですので，各自ポケットWiFiをお持ちいただくことを強く推奨します。

懇親会

9/8 19:00～ 会場の詳細はこちら ※会の中で優秀発表賞と優秀質疑賞の表彰を行います

シェルと空間構造に関する夏期セミナー2026

2026年9月5日(土) ～ 9月8日(火)

Final Announcement

会場：広島サンプラザ

研究発表プログラム（確定版）

1日目 9/6(日) ※休憩10分：SESSION2-3間／昼休みなし

No.	セッション	時間	座長	氏名	所属	学年	発表タイトル
1	SESSION 1	13:20-13:33	武藤宝	岩井洋輝	東海大学	M2	透水性能を目的関数とした地盤置換用プラスチック構造体の形状最適化
2	SESSION 1	13:33-13:46		早川健太郎	日本大学	教員	可展および近似可展ストリップを用いた空間曲線に沿うH形断面梁の形状生成
3	SESSION 1	13:46-13:59		加藤拓真	東京大学	M2	生きた樹木と鋼材を癒合した建築構造物のモデル化
4	SESSION 1	13:59-14:12		丸山蓮	東海大学	M2	欠席
5	SESSION 1	14:12-14:25		中川蒼太	近畿大学	M1	BIMデータと構造解析の連携による新たな設計環境の構築
6	SESSION 2	14:25-14:38	和多田遼	吉澤佑真	東海大学	M1	分布ひび割れモデルを用いた準脆性材料の損傷評価に関する基礎的研究
7	SESSION 2	14:38-14:51		和多田遼	大阪産業大学	教員	合板の角度依存剛性・強度に基づく2次元トラス骨組の形状最適化
8	SESSION 2	14:51-15:04		秋田遥翔	近畿大学	B4	基礎杭の構造設計における分離モデルと一体モデルの応力性状の比較考察
9	SESSION 2	15:04-15:17		村永健太郎	鹿児島大学	M1	複合分野の最適化に向けた統合型フレームワークの構築とAI活用の構想
10	SESSION 2	15:17-15:30		池田茉由子	東京大学	M1	木質材料を拘束材に用いた座屈拘束ブレースの研究
11	SESSION 3	15:40-15:53	中村達哉	平原朋樹	近畿大学	M1	IESO法による3次元位相最適化ソフトウェアの開発
12	SESSION 3	15:53-16:06		西村督	金沢工業大学	教員	鉄骨置屋根体育館の建物－地盤の相互作用を考慮した地震時損傷評価
13	SESSION 3	16:06-16:19		石塚哲也	東海大学	M1	繊維補強コンクリートを用いた2枚合わせHPシェルの地震応答解析
14	SESSION 3	16:19-16:32		佐藤鼓	近畿大学	M1	帯状に折りたたみ可能なハニカム折版の曲面フィッティング
15	SESSION 3	16:32-16:45		岩屋昂士朗	鹿児島大学	M2	鋼材重量を目的関数とした主架構と摩擦ダンパーによる制振性能を考慮した構造最適化－レベル2地震動を対象とした等価多質点系モデルにおける検討－
16	SESSION 4	16:45-16:58	倉田眞秀	和多毅	東京大学	M2	非線形有限要素解析に基づく円錐台シェルの力学特性の分析
17	SESSION 4	16:58-17:11		船越健汰	近畿大学	B4	昆布を引張材としたテンセグリティ構造物の力学特性に関する研究
18	SESSION 4	17:11-17:24		谷川楓	東海大学	M1	曲線折りを用いた椅子における変形を目的とした形状最適化
19	SESSION 4	17:24-17:37		海内太介	金沢工業大学	B4	Reciprocal unitで構成される曲面のパラメトリックデザイン
20	SESSION 4	17:37-17:50		藤田慎之輔	近畿大学	教員	製材マッシブホルツによる自由曲面シェルの構造設計

2日目 9/7(月) ※休憩10分：SESSION5-6・8-9間／昼休み60分：SESSION6-7間

No.	セッション	時間	座長	氏名	所属	学年	発表タイトル
21	SESSION 5	09:10-09:23	松本慎也	中村達哉	鹿児島大学	教員	曲線折りを有する仮設構造物の実大モデルの製作

No.	セッション	時間	座長	氏名	所属	学年	発表タイトル
22	SESSION 5	09:23-09:36		Martin Maricot	ENSTA	M1	同じ多面体張力ネットワークを共有するテンセグリティ構造の族
23	SESSION 5	09:36-09:49		田中莉心	近畿大学	M2	裁断球殻に対する矩形レシプロカルフレームの適用に関する研究
24	SESSION 5	09:49-10:02		松久悠起	東京大学	M1	単眼カメラ画像における楕円投影モデルを用いた3D姿勢・変形推定－こいのぼりの口輪を対象として－
25	SESSION 5	10:02-10:15		高橋龍徳	東海大学	M2	CVAEを用いた自由曲面シェル構造の生成手法の検討
26	SESSION 5	10:15-10:28		和田真拓	鹿児島大学	M1	Lie球面変換によるグリッドシェル構造の形状最適化－シェル曲面形状と反転形状の力学特性の比較－
27	SESSION 6	10:28-10:41	西村督	松本慎也	近畿大学	教員	汎用型中高層木造建築物の構法開発－通し柱方式とハイブリッド架構－
28	SESSION 6	10:41-10:54		須川愛子	鹿児島大学	M2	自由曲面グリッドシェル構造の測地線探索
29	SESSION 6	10:54-11:07		関裕史	東海大学	M1	プラスチック構造体が持つ地盤の液状化抑止性能に関する実験的研究
30	SESSION 6	11:07-11:20		谷村瑠威	近畿大学	M2	スタガード粒子配置に基づくハミルトニアン粒子法を用いたトポロジー最適化に関する基礎的研究
31	SESSION 6	11:20-11:33		武藤宝	東京大学	教員	強風で屋根ふき材が剥がれた大規模集客施設2例の調査
32	SESSION 6	11:33-11:46		董嘉麟	京都大学	D1	パラメータ化レベルセット法と逆解析に基づく構造トポロジー最適化法
33	SESSION 7	12:46-12:59	横須賀洋平	新田郁真	近畿大学	B4	アルキメデス螺旋カーフベンディングによる形態創生に関する基礎的研究
34	SESSION 7	12:59-13:12		山崎秀政	千葉工業大学	B4	2026年における非地震時の天井落下被害まとめ，および熊本地震調査
35	SESSION 7	13:12-13:25		吉水智哉	東海大学	M1	ドリフトピン接合部の軸力と曲げの耐力相関式の提案
36	SESSION 7	13:25-13:38		倉田眞秀	東京大学	教員	屋外での長期振動モニタリングに用いる加速度計BOXの製作
37	SESSION 7	13:38-13:51		陳星宇	京都大学	D3	振動依存力と動力学特性を用いた片持ち屋根の自励振動評価
38	SESSION 8	13:51-14:04	藤田慎之輔	森永恵央	近畿大学	M1	溶射膜厚の異なるモリブデンを滑り面に溶射した滑り型免震支承に関する解析的研究
39	SESSION 8	14:04-14:17		今枝颯一	東京大学	D2	生きた樹木と鋼材を組み合わせた建築物の振動特性評価
40	SESSION 8	14:17-14:30		江柄美琴	東海大学	M2	平板部材のアクティブベンディングにより形成される曲面構造の形状差異の予測と最小化
41	SESSION 8	14:30-14:43		林和希	京都大学	教員	籠目パターンを有するグリッドシェル構造の離散微分幾何に基づく形態創生
42	SESSION 8	14:43-14:56		三浦祐典	金沢工業大学	M2	内包空気の慣性質量を考慮した空気膜構造の動的応答
43	SESSION 9	15:06-15:19	林和希	田中綾真	日本大学	M1	等辺平坦六角形メッシュによる曲面近似
44	SESSION 9	15:19-15:32		香月楓奈	近畿大学	M1	力法による部材長一様化を考慮した形状最適化による研究
45	SESSION 9	15:32-15:45		小幡高大	東海大学	M2	線形座屈解析プログラムを用いた単層ラチスシェルの座屈耐力の推定
46	SESSION 9	15:45-15:58		横須賀洋平	鹿児島大学	教員	Willmore曲面による空気膜構造の釣合い
47	SESSION 9	15:58-16:11		松尾孝太郎	東京大学	M2	多自由度展開構造物の折り経路探索

No.	セッション	時間	座長	氏名	所属	学年	発表タイトル
48	SESSION 10	16:11-16:24	早川健太郎	楠藤駿輔	近畿大学	M1	超高層RCラーメンへのメガフレーム構造の適用可能性
49	SESSION 10	16:24-16:37		竹中虎太郎	京都大学	D3	建築構造物の形態生成モデル
50	SESSION 10	16:37-16:50		野尻実里	東海大学	M1	地盤改良体を有する複合基礎に関する基礎的研究
51	SESSION 10	16:50-17:03		川口健一	東京大学	教員	大切だと思うこと－未来に向けて建築構造ができること Structural Engineering for our future－

参加者リスト

出欠表を参照ください。

部屋割り（確定版）

部屋は，シングル，ツイン，トリプル，大部屋のいずれかで，同性による相部屋が基本となりますが，シングルの部屋を希望する場合は別途幹事までお問い合わせください。

部屋タイプ	部屋No.	定員	氏名	所属	属性	性別	9/5-6	9/6-7	9/7-8	備考
和室(6名)	WA-6（教員）	6	横須賀洋平	鹿児島大学	教員	男	泊	泊	-	9/7帰宅
			和多田遼	大阪産業大学	教員	男	泊	-	-	9/6懇親会後帰宅
			藤田慎之輔	近畿大学	教員	男	泊	泊	泊	
			早川健太郎	日本大学	教員	男	泊	泊	泊	
			武藤宝	東京大学	教員	男	泊	泊	泊	
			林和希	京都大学	教員	男	泊	泊	泊	
トリプル(3名)	TR-F1（教員）	3	川口健一	東京大学	教員	男	泊	泊	-	9/7宿泊しない
			松本慎也	近畿大学	教員	男	泊	泊	泊	
			西村督	金沢工業大学	教員	男	泊	泊	泊	
ツイン(2名)	TW-F1（教員）	2	倉田眞秀	東京大学	教員	男	泊	泊	泊	
			中村達哉	鹿児島大学	教員	男	泊	泊	泊	
トリプル(3名)	TR-女子学生	3	野尻実里	東海大学	M2	女	泊	泊	泊	
			池田茉由子	東京大学	M1	女	泊	泊	泊	
			香月楓奈	近畿大学	M1	女	泊	泊	-	9/7宿泊しない
ツイン(2名)	TW-女子学生	2	江柄美琴	東海大学	M2	女	泊	泊	泊	
			須川愛子	鹿児島大学	M1	女	泊	泊	泊	
和室(4名)	WA-4-A（男子学生）	4	高橋龍徳	東海大学	M2	男	泊	泊	泊	
			松久悠起	東京大学	M1	男	泊	泊	泊	
			海内太介	金沢工業大学	B4	男	泊	泊	泊	
			谷村瑠威	近畿大学	M2	男	泊	泊	泊	
和室(4名)	WA-4-B（男子学生）	4	小幡高大	東海大学	M2	男	泊	泊	泊	
			和多毅	東京大学	M2	男	泊	泊	泊	
			村永健太郎	鹿児島大学	M1	男	泊	泊	泊	
			森永恵央	近畿大学	M1	男	泊	泊	泊	
トリプル(3名)	TR-S1（男子学生）	3	Martin Maricot	ENSTA	M1	男	泊	泊	-	9/7宿泊しない
			竹中虎太郎	京都大学	D3	男	泊	泊	泊	
			吉水智哉	東海大学	M1	男	泊	泊	泊	
トリプル(3名)	TR-S2（男子学生）	3	今枝颯一	東京大学	D2	男	泊	泊	泊	
			吉澤佑真	東海大学	M1	男	泊	泊	泊	
			山崎秀政	千葉工業大学	B4	男	泊	泊	泊	

部屋タイプ	部屋No.	定員	氏名	所属	属性	性別	9/5-6	9/6-7	9/7-8	備考
トリプル(3名)	TR-S3（男子学生）	3	陳星宇	京都大学	D3	男	泊	泊	泊	
			石塚哲也	東海大学	M1	男	泊	泊	泊	
			三浦祐典	金沢工業大学	M2	男	泊	泊	泊	
トリプル(3名)	TR-S4（男子学生）	3	董嘉麟	京都大学	D1	男	泊	泊	泊	
			岩井洋輝	東海大学	M2	男	泊	泊	泊	
			岩屋昂士朗	鹿児島大学	M2	男	泊	泊	泊	
トリプル(3名)	TR-S5（男子学生）	3	関裕史	東海大学	M1	男	泊	泊	泊	
			松尾孝太郎	東京大学	M2	男	泊	泊	泊	
			田中綾真	日本大学	M1	男	泊	泊	泊	
トリプル(3名)	TR-S6（男子学生）	3	谷川楓	東海大学	M1	男	泊	泊	泊	
			和田真拓	鹿児島大学	M1	男	泊	泊	泊	
			加藤拓真	東京大学	M2	男	泊	泊	泊	

宮島・弥山 登山 ＋ 神社・史跡見学（9/7）

瀬戸内海に浮かぶ宮島は，日本三景の一つとして知られ，古くから信仰の対象となってきた島です。標高535mの弥山は，原始林や巨岩，展望地が点在する霊山であり，山頂からは瀬戸内海の多島美を一望できます。

スケジュール

時刻	内容
07:00	広島サンプラザ 朝食
08:00	弁当受け取り・広島サンプラザ 出発
08:20頃	JR新井口駅 発（山陽本線，宮島口方面）
08:34頃	宮島口駅 着・徒歩で宮島口港へ
08:55頃	宮島口港 発（JRフェリー，所要約10分，運賃約300円）
09:05頃	宮島港 着・トイレ済ませて出発準備
09:30頃	登山開始（紅葉谷方面より）
12:30頃	弥山山頂 到着・昼食
13:30頃	下山開始
15:30頃	下山完了
15:30～17:00	厳島神社周辺・表参道商店街 自由見学
17:00以降	各自フェリーにて帰路

※所要時間は休憩を含めて全行程でおおよそ4～5時間程度を予定。体力や天候の状況を見ながら，無理のないペースで進行します。

ルート概要

広島サンプラザ（08:05 出発） → JR新井口駅（08:20頃 発） → 宮島口駅（08:34頃 着） → 宮島口港（08:55頃 発） → 宮島港（09:05頃 着） → 紅葉谷登山口（09:30頃 登山開始） → 弥山山頂（12:30頃 到着・昼食・見学） → 下山開始（13:30頃） → 厳島神社周辺（15:30～ 自由見学）

登山ルート：紅葉谷方面から弥山山頂を目指します。途中には「くぐり岩」や「干満岩」などの奇岩，弘法大師ゆかりの史跡があります。山頂付近では，霊火堂・三鬼堂などの寺社を見学予定です。

下山後：厳島神社周辺を自由見学とします。海上大鳥居や回廊，五重塔，千畳閣など，宮島を代表する歴史的建造物を各自散策してください。商店街では，もみじ饅頭や焼き牡蠣などの名物も楽しめます。

注意事項

- 登山道は整備されていますが，岩場や木の根が露出している箇所が多く，雨天後は特に滑りやすくなります。急勾配の区間や階段も多いため，足元には十分注意してください。
- 弥山周辺は天候が急変する場合があります。海辺は暑くても山頂付近は風が強く冷えることがあるため，雨具と防寒着を必ず持参してください。
- 休憩は適宜行います。体力に自信のない人は遠慮なく申し出てください。
- 途中に売店や自動販売機は限られています。飲料水は最低でも2本以上準備してください。夏季は熱中症対策としてスポーツドリンク等を推奨します。
- トイレはフェリーターミナル周辺や山頂付近にありますが，登山開始前に済ませておいてください。
- 島内は観光地のため比較的電波は届きますが，一部山中では通信が不安定になる可能性があります。
- 鹿が多数生息しています。荷物や食べ物を狙われる場合があるため注意してください。また，鹿に紙類を食べられることがあるので，地図やチケット等の管理にも注意してください。

服装・持ち物

服装　　持ち物

- 滑りにくい靴（登山靴，トレッキングシューズ等。滑りやすい靴やサンダルは不可）
- 肌を露出しない服装（長ズボン：擦り傷・虫対策，長袖：日焼け・虫刺され対策）
- 帽子推奨（日差し対策および枝への接触防止のため）
- リュックサック（両手を空けること）
- 雨具兼防寒具（傘は不可）
- 飲料水（2本以上）
- 昼食・行動食（飴，ゼリー飲料等）
- タオル
- 保険証（もしくはコピー）
- モバイルバッテリー（必要な人）
- レジャーシート（休憩時に便利）
- 着替え（必要な人）
- 緊急連絡先を把握しておく（研究室メンバー，宿泊施設，担当教員 等）